

乳児用液体ミルク

「特別用途食品」の許可基準設定



許可基準を説明する消費者庁(8月8日)

安全性への課題が消費者団体から提示されていた乳児用液体ミルクについて消費者庁は八月八日、特別用途食品に「乳児用調整液状乳」として位置付け、その許可基準を設定・施行したことを明らかにした。液体ミルクでは今年六月「授乳に

依然残る安全確保への懸念

◎特別用途食品として普及許可
乳児用液体ミルクは特別用途食品として販売される

「授乳に使用される乳児用調整液状乳に代わる新たな選択肢」として普及に向けた方針が政府で決定された。厚生労働省は食品衛生法に基づき乳等省令を改正、消費者庁は告知及び次長通知を改正し特別用途食品として普及実現を図ることとなった。

消費者の目

使用される乳児用調整液状乳に代わる新たな選択肢となる」として普及に向けた方針が政府で決定された。厚生労働省は食品衛生法に基づき乳等省令を改正、消費者庁は告知及び次長通知を改正し特別用途食品として普及実現を図ることとなった。

消費者庁、次長通知など改正

普及実現へ環境を整備

「乳児用調整液状乳」として市販

「授乳に使用される乳児用調整液状乳に代わる新たな選択肢」として普及実現を図ることとなった。消費者庁は特別用途食品としての普及にあたって、液体ミルクの名称を「乳児用調整液状乳」としたうえで、「乳児用調整液」という区分を新たに追加、その下に「乳児用調整液状乳」と「乳児用調整液状乳」という分類を設けた。

◎製品事故で毎日十人がけがー豪州
オーストラリア競争・消費者委員会(ACC)は八月二十日、欠陥製品による事故が一日当たり少なくとも十件発生していると発表した。この数値は報告義務のあるメーカーや小売業者から

全葬連葬祭サービスガイドライン 遵守宣言



このマークの事業所は信頼できる葬儀社です

ご葬儀に関するお問い合わせは、右記組合までお気軽にご連絡ください。

Table listing various funeral associations across Japan with their contact numbers. Includes entries for Hokkaido, Aomori, Iwate, Miyagi, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, and Okinawa.

お葬式は、安心と信頼の全葬連加盟店へ

納得できる葬儀の条件

安心してできる「信頼マーク」活用を

夏の「お盆」が過ぎ、秋の「お彼岸」と、お墓参りが身近な季節だ。各地の消費生活センターには「終活」に関する問い合わせが増加傾向にある。その中でも葬儀に関する相談が目立ちはじめ、納得できる葬儀を確保するための情報を得たいなど関心も高まっている。それとともに、インターネット契約などによる葬儀をめぐる消費者トラブルも増加傾向という。日ごろからの準備がトラブル防止への最善策だが、突然おとす葬儀への対応は遅れがち。全日本葬祭業協同組合連合会(全葬連)は消費者の選択の目安となる「葬祭サービスガイドライン」認定マーク制度を導入、地域に密着した葬儀社など事業者選定の重要性を提起している。全葬連・石井時明会長は「亡き人を優しく弔うのが葬儀」「本人はもとより、遺族の方々の思いに寄り添って葬儀を執り行うのが全葬連会員の使命」とし、消費者に「全葬連のマーク認定事業者は地域の事前相談にも取り組んでおり、選定の参考にされてみては」と提案している。

経産大臣認可 全葬連の取り組み

「社会の中で、コミュニティへの実感が次第に希薄になるに伴い、地域で最も重大な法事である葬儀をめぐっても多様な形態が登場しています。総会では地域に密着した事業者として、葬儀の重要性を会員同士、再確認しました」

石井新体制「優しい弔い」尊重



石井時明会長

「本人・遺族に寄り添い、地域密着を基本に」「葬祭業には登録制度も許可制度もありません。誰でも参入できる。そのことが葬儀を取り巻く社会の認識にも影響を与えてしまっています。ご遺体を処理するだけ、業者数は約千三百四十社、

業界唯一の葬祭専門認可団体として、各種の業界健全化策を展開している。世界八十八カ国からなる国際葬儀連盟にも加盟し、二〇二〇年に日本で開催される世界大会のホスト役も務め

葬祭サービスガイドライン運用

本人・遺族の想いを重視

「葬祭サービスガイドライン」運用 石井さんは、今年五月の通葬総会で、一月に逝去された松井昭恵さんの後を引き継ぎ、第五代会長に就任した。就任あいさつで石井さんは、

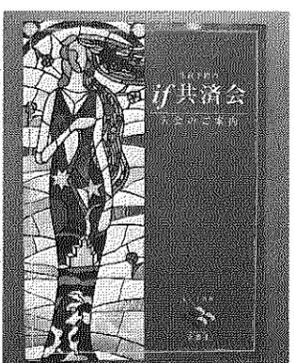
「優しい人を使う事業を誇り高く推進している全国の所属事業者との連携を強化していきたい」と表明。地域に密着した事業展開の重要性を周知し



全葬連総会では新体制で新たなスタートを確認(5月24日)

安心してできる葬儀とするには、高齡社会の進展、外国人増加によるクローバル化への対応など、葬儀をめぐる環境変化の中でスタートした「石井新体制」その方向性は明快だ。

生前予約で安心を提供 「if 共済会」にも関心高まる



「安心」を約東if共済会

生前予約で安心を提供 「if 共済会」にも関心高まる 入会会員は遺された基本葬儀料の10%が現金で「弔慰金」として支給される。その本部は全葬連に置かれている。

短 信

◎フランスベッド「枕」 フランスベッド(東京)は八月三日、希望者には、正しい重量表示の品質表示ラベルへの付け替えの対応を実施する。商品の品質・機能性については問題ない。

◎サンリオ「アクリル」 生レインギが染み出す状況が発生するとして、無償交換を発表した。問題の商品は品番MGP120 EOI/Hフルード、クラムシェルパック形状のパッケージ商品のもの。本体底面の製造ロット番号が866、867、86C、86Eの一部商品が対象となる。

◎if 共済会 入会会員は遺された基本葬儀料の10%が現金で「弔慰金」として支給される。その本部は全葬連に置かれている。